

製品名: シスタチン C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab09696

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	CST3
別名	CST3; Cystatin-C; Cystatin-3; Gamma-trace; Neuroendocrine basic polypeptide; Post-gamma-globulin
遺伝子 ID	1471.0
SwissProt ID	P01034
免疫原	シスタチン C 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 60-140

背景

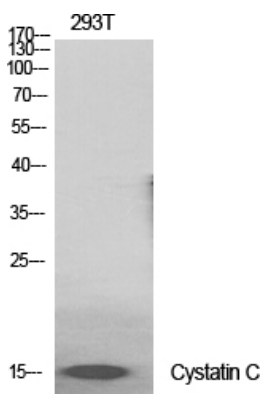
シスタチンスーパーファミリーには、複数のシスタチン様配列を含むタンパク質が含まれます。メンバーの中には活性なシステイン

プロテアーゼ阻害剤であるものもあれば、この阻害活性を失っているか、そもそも獲得していないものもあります。スーパーファミリーには、タイプ1シスタチン(ステフィン)、タイプ2シスタチン、およびキニノーゲンの3つの阻害ファミリーがあります。タイプ2シスタチンタンパク質は、システインプロテアーゼ阻害剤の一種で、さまざまなヒトの体液や分泌物に存在し、保護機能を発揮すると考えられています。20番染色体上のシスタチン遺伝子座には、タイプ2シスタチン遺伝子と擬似遺伝子の大部分が含まれます。この遺伝子はシスタチン遺伝子座に位置し、最も豊富なシステインプロテアーゼ細胞外阻害剤をコードします。この阻害剤は体液中に高濃度で存在し、事実上すべての臓器で発現しています。この遺伝子の変異は、アミロイドーシス6型(AMYL6) [MIM:105150]の原因であり、遺伝性脳出血アミロイドーシス(HCHWA)、脳アミロイド血管症(CAA)、またはアイスランド型脳動脈アミロイドーシスとしても知られています。AMYL6は、シスタチンCアミロイド沈着による遺伝性全身性アミロイドーシスです。シスタチンCアミロイドは、脳の動脈、細動脈、時には毛細血管や静脈の壁、およびリンパ組織、脾臓、唾液腺、精嚢などのさまざまな臓器に蓄積します。脳血管へのアミロイド沈着は、脳アミロイド血管症、脳出血、および早期脳卒中を引き起こします。脳脊髄液中のシスタチンC濃度が異常に低い。疾患: CST3 遺伝子変異は、加齢黄斑変性症11型(ARMD11) [MIM:611953]と関連している。ARMDは多因子性眼疾患であり、先進国における不可逆的な視力喪失の最も一般的な原因である。ほとんどの患者において、この疾患は、網膜色素上皮、ブルッフ膜と呼ばれるエラスチン含有構造内に、検眼鏡で確認できる黄色のタンパク質と脂質の蓄積として現れる。機能: システインプロテアーゼの阻害剤として、このタンパク質は、この酵素活性の局所的調節因子として重要な生理学的役割を果たすと考えられている。その他: クロイツフェルト・ヤコブ病の診断における潜在的な脳脊髄液マーカー。類似性: シスタチンファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 脳脊髄液や血漿など、様々な体液中に認められる。精巣上体、精管、脳、胸腺、卵巣で最も高いレベルで発現し、顎下腺で最も低いレベルで発現する。

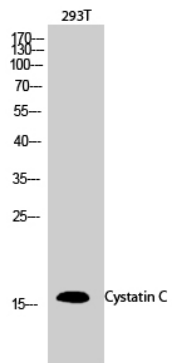
研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



1: 2000希釈のシスタチンCポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 2000 希釈のシスタチン C ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析